

# SMOKE

スモーク

ウェイン・ワン 監督作品

1995年/日米合作/113分/ブルーレイ上映



(C)1995 Miramax/NDF/Euro Space

2022年12月24日(土)

[上映時間] 13:00

[会場] 横浜市港南公会堂

交流会  
15:00  
~15:30  
自由参加

## クリスマス・イブに最高のクリスマス・ストーリーを ポール・オースター原作「オーギー・レンのクリスマス・ストーリー」が1本 の映画に生まれ変わった

### 【物語】

1990年のブルックリン。14年間、毎日同じ時間に同じ街角の写真を撮り続けているオーギーが営む煙草屋。常連客のポールは突然の事故で妻を失って以来、ペンを持たずにいる作家。悲しい過去を引きずりながら家に帰る途中、危うく車にひかれそうになった所を黒人少年に助けられる。が、ラシードと名乗るその少年には誰にも打ち明けられない秘密があった。

### 【出演】

ハーヴェイ・カイテル（オーギー・レン）  
ウィリアム・ハート（ポール・ベンジャミン）  
ストッカード・チャニング（ルビー・マクナット）  
ハロルド・ペリノー（ラシード・コール）  
フォレスト・ウィテカー（サイラス・コール）  
アシュレイ・ジャッド（フェリシティ）

### 【スタッフ】

監督：ウェイン・ワン  
脚本：ポール・オースター  
製作：堀越謙三  
撮影：アダム・ホランダー  
音楽：レイチェル・ポートマン  
美術：カリナ・イワノフ



(C)1995 Miramax/NDF/Euro Space

### 【オースターと映画】

オースターは映画という手法にも興味を持っていたが、1990年にニューヨーク・タイムズに掲載された「オーギー・レンのクリスマス・ストーリー」を読んだ映画監督ウェイン・ワンがオースターに連絡を取り、作品の映画化の話が進んだ。オースターはワンと親交を

深め、1995年の映画「スモーク」の脚本を書き下ろし、ハーヴェイ・カイテルやフォレスト・ウィテカーなどのキャストの選定も行った。

1995年に「スモーク」を撮り終えた頃、余ったフィルムでなにかできないかと考えて撮られたのが映画「ブルー・イン・ザ・フェイス」である。即興で作られたため6日間で撮り終えられたこの作品には、「スモーク」に出演したハーヴェイはもとより数多くの俳優が集まり、その中にはルー・リード、マイケル・J・フォックス、マドンナなどがいた。オースターはこの作品の脚本執筆及び副監督を務めている。

(フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』より)

.....

## アンケート集計結果 2022年9月17日 第70回上映会「裸の島」

(来場者数:120人 アンケート回収数:43枚 回収率:35.8%)

### **とても良かった** 28人(65.1%)

- ・音楽と映像がマッチしていてびっくりした。昭和30年代の瀬戸内地方ですか？映像美がすばらしかった。
- ・日本人の生活の原点を見る思いがしました。私の先祖は山奥ですが、同じような生活をしていました。
- ・最近になってこんな素晴らしい心に残る映画を見させていただきました。
- ・撮影の構図も素晴らしかった。
- ・水やりの最後でふっきれたのか表情がすばらしく良かった。
- ・感動した。
- ・セリフがない映画を初めて見ました。けれど内容は伝わったと思いました。
- ・なつかしい！そしてほんの60年前の瀬戸内が舞台なんですね。
- ・表現の手段としてのセリフが無く、色彩もモノクロームで、どのような映画なのだろうと思いましたが、素晴らしい表現力に感嘆いたしました。感極まって涙すら出てしまいました。素晴らしい映画でした。
- ・パソコンでみる DVD とはやはり大違いでした。モノクロ、台詞なし、これだけ情報をそぎ落としても、情感に訴えてくるこの作品、映画の力に感動しました。

### **良かった** 14人(32.6%)

- ・1960年代に、本当の姿なのか。貧しい暮らし、懸命に生きているのだなど。。。でも驚いた。

## 横浜キネマ倶楽部のスタッフ募集中！！

横浜市民とともに17年。映画好きが集まったグループです。自分が観たい。又、他の人にもこんな良い作品を観て欲しいとできたのが当倶楽部。是非、仲間になってください。

### <確認事項>

- スタッフは、全員が無報酬の市民で構成されております。活動報酬などはありません。
- スタッフの経験、未経験は問いません。映画好き、こんな企画がしたいなど提案ある方どうぞ！
- 例えば、もぎり(チケットの確認)1時間だけ手伝える方でも大歓迎です！

ご関心のある方はご連絡ください。→ [yokohama\\_kinemaclub@yahoo.co.jp](mailto:yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp)

# << 次回 第72回上映会のお知らせ >>

## 『みんなの学校』

2023年2月5日(日)

上映時間 ①11:10

②14:10

[講演] 真鍋俊永 監督

時間 13:00~14:00

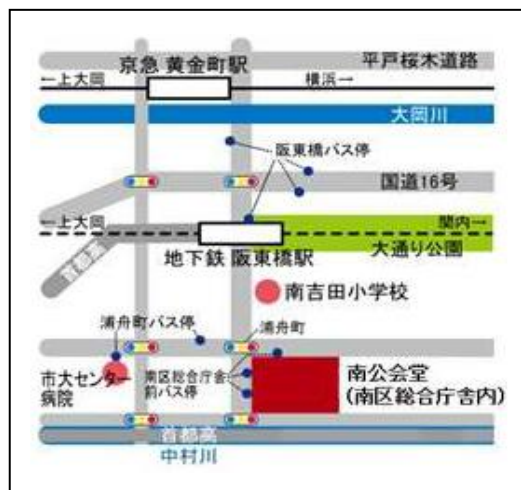
[入場料] 前売 1,000円 当日 1,300円

障がい者 1,000円(介助者1名無料)

[会場] 横浜市南公会堂 南区総合庁舎内3階

045-341-1261

横浜市営地下鉄「阪東橋」駅下車 徒歩8分 京浜急行「黄金町」駅下車 徒歩14分



横浜市南公会堂地図

… 2014年/日本/カラー/106分/ブルーレイ上映 …

出演: 大空小学校のみんな 監督: 真鍋俊永 ナレーション: 豊田康雄

企画: 迫川緑 プロデューサー: 中尾雅彦/加藤康治/兼井孝之

## 横浜に映画ファンの思いが反映される映画館を作ろう!

横浜キネマ倶楽部は、横浜で永年親しまれてきた映画館の相次ぐ閉館を惜しむ映画ファンが集まり、2005年5月発足し、「横浜に映画ファンの思いが反映される映画館をつくる」ことを目標に掲げて活動を続けています。会の存在をより多くの皆様に知っていただき、映画館をつくる目標に一步でも近づきたい、それと同時に良質な映画を上映することで、映画ファンの交流の場を提供したい、という思いで年4回の上映会を行っています。

## 横浜キネマ倶楽部会報

横浜キネマ倶楽部 発行



…横浜キネマ倶楽部連絡先…

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2  
かながわ県民活動サポートセンター No.269  
TEL:080-2554-8023 (10時~18時)  
Eメール yokohama\_kinemaclub@yahoo.co.jp  
HPアドレス: <https://ykc.jimdofree.com/>

2022年12月24日発行

アンケート集計結果 2022年7月23日 第69回上映会「赤いハンカチ」

(号外)

(来場者数:173人 アンケート回収数:65枚 回収率:37.6%)

## 【作品についての評価】

**とても良かった** 41人 (61.2%)

- ・画がカッコイイ、色合いがカッコイイ、ルリちゃんが可愛い
- ・個人的には数ある「ハマ映画」の決定版と言える。この映画のロケ地となった山下町「互楽荘」はこの映画が撮られた前後、実母が働いており、頻繁に通った場所なので……。終戦直後の風俗史的にも意味ある場所です。
- ・歌声だけでも涙が出ます。
- ・彼の歌はいつも家で流れています。
- ・公開当時は中2だったが、洋画に関心があった。初めて見たが、意外と斬新なカメラアングル、当時の風景がたっぷりで食い入るように見た。
- ・あらためてすばらしい作品です。
- ・なつかしく見ました。50年以上もたったんですね。裕ちゃんがなくなって30何年も本当に月日のたつのが早いですね。
- ・ギターの曲がとても良かった。

**良かった** 23人 (34.3%)

- ・始め終わりがとってもすてきでした。
- ・中学生の時、ブラスバンドの大会でステージで演奏したことがありました。なつかしかったです。50数年ぶりに堂の中に入り思い出深かったです。
- ・初めてみました。「これが、日活、石原裕次郎の映画なのかー！」と思いました。「裕次郎さんカッコいいですね！」時代が一緒ならファンになっていたかも……。一つだけ気になったことが「セリフがきこえにくかったです。」歌が哀愁があり、良かったです。
- ・1963年の作品、なかなか見ることができなかったのよかったです。

- ・内容は私に理解できないところがありましたが、石原裕次郎さん、浅丘ルリ子さん、最高でした。歌 最高！
- ・スピーカーの音が割れてしまってセリフが聞きづらかった
- ・音声が聞きづらかった（自分の耳が少し悪いのか?）
- ・昔の映画でなつかしく感じた。石原裕次郎はヒーローでした。
- ・昔を懐かしく思い出すことが出来た。
- ・懐かしい裕次郎さんの姿。歌声に涙が止まりませんでした。音響のためか、会話が余りはっきりと聞き取れなかったのが残念でした。
- ・セリフが聞き取れなかった。

**あまり良くなかった** 2人 (3.0%)

- ・音響のせいとか、せりふが良くききとれなかった。（自分の耳のせいかもしれないが）
- ・音響が良すぎてからか聞きづらかった。

**良くなかった** 1人 (1.5%)

- ・古い為、声が切れきれで残念でした。

## 【佐藤利明さんの講演について】

**とても良かった** 37人 (71.2%)

- ・映画の歴史がわかりました
- ・52才の若さでいってしまった裕次郎さん。やりたい事はいっぱいあったでしょうに～私たちは高齢者になり毎日の生活を大事に生きていかなければ裕次郎さんに申し訳ない。
- ・詳しい情報で楽しかった。

**良かった** 15人 (28.8%)

- ・映画鑑賞に深みがプラスされました。
- ・なつかしくお話をきかせて頂きました。
- ・なつかしく、愛しく出来ました
- ・制作された背景が理解できた。

(アンケートご協力ありがとうございます)